

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	玄関扉の施錠については、暗証番号を表示して対応し、外出願望のある入居者様にはスタッフが付き添い自由に入出入り出来るようにしていますが、現実24時間施錠している事に入居者様・家族様への心理的拘束感はあるのでは点を問題・課題として施錠の解除に取り組んでいきます	玄関扉を施錠しない。心理的拘束感の軽減を目指す	先ず、職員間で施錠は拘束であるという事を再認識できるように話し合い。かつ安全面に配慮しながら初めは日中の1.2時間からでも鍵をかけないように取り組んでいく	6ヶ月
2	9	個々の職員は入居者様に対する思いは充分にあるが、全職員が共有できる情報交換が徹底されていない。	全職員が共有できる情報交換ができ、個別にしっかりとした統一したケア・記録が出来るように努めます	入居者様一人ひとりの思いや意向を職員間で記入出来るノートを作成して、家族様にもご協力を頂き統一したケア・記録ができるように取り組んでいきます	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。